

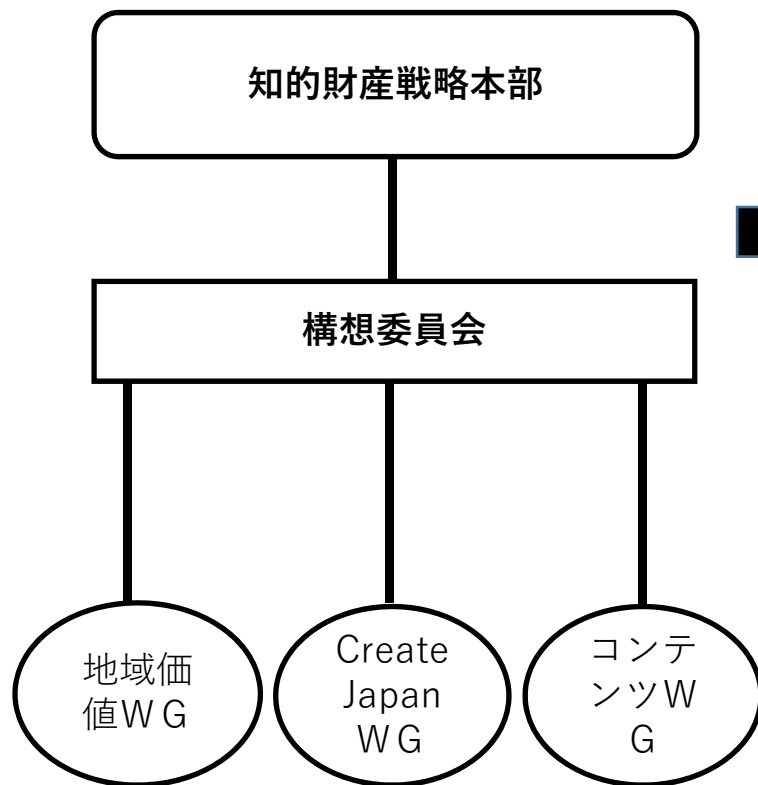
# デジタル時代における 著作権制度・関連政策の在り方の 検討にあたって

2020年9月7日

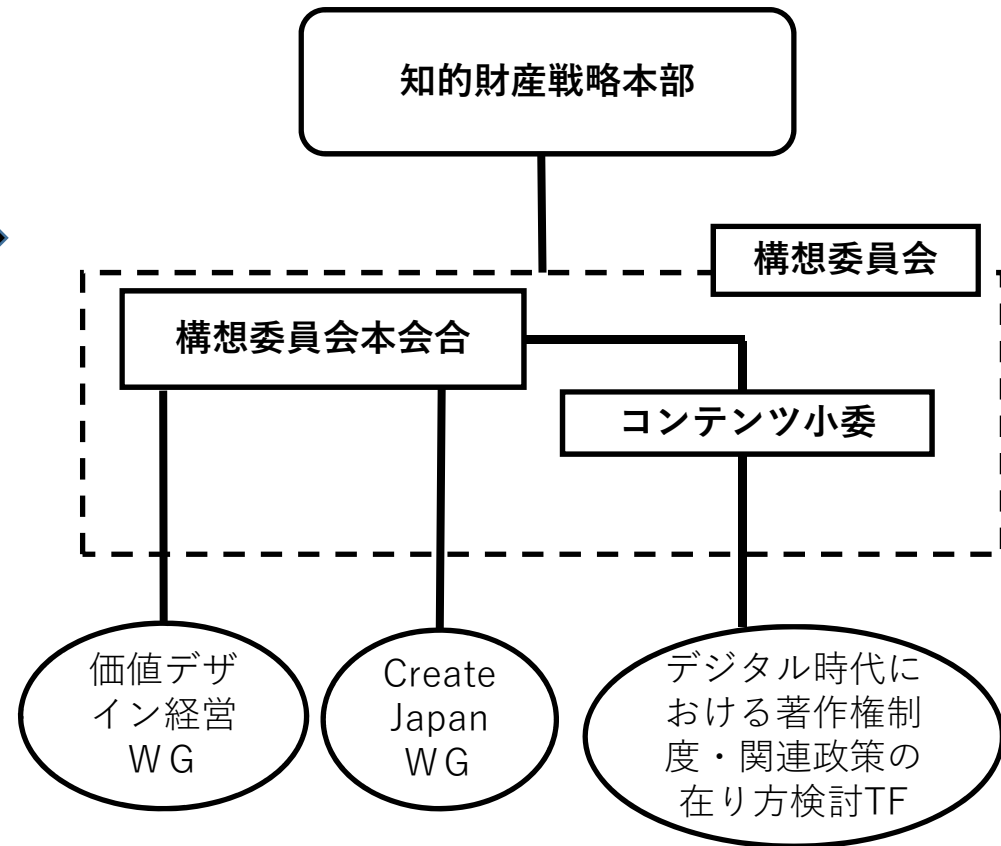
内閣府 知的財産戦略推進事務局

# 知的財産戦略本部の下の検討体制の再編について

(旧)



(新)



# デジタル時代における著作権制度・関連政策の在り方検討タスクフォースについて

- デジタル時代の実態に応じた著作権制度を含めた関連政策のあり方について検討
- 年内に具体的な課題と検討の方向性について整理予定

(参考)

デジタル時代におけるコンテンツの流通・活用の促進に向けて、新たなビジネスの創出や著作物に関する権利処理及び利益分配の在り方、市場に流通していないコンテンツへのアクセスの容易化等をはじめ、実態に応じた著作権制度を含めた関連政策の在り方について、関係者の意見や適切な権利者の利益保護の観点にも十分に留意しつつ検討を行い、2020年内に、知的財産戦略本部の下に設置された検討体を中心に、具体的な課題と検討の方向性を整理する。その後、関係府省において速やかに検討を行い、必要な措置を講ずる。(令和2年5月27日 知的財産推進計画2020)

## 検討スケジュール (案)

9月～

- ・事業者、権利者等ヒアリングを通じた個別論点の検討

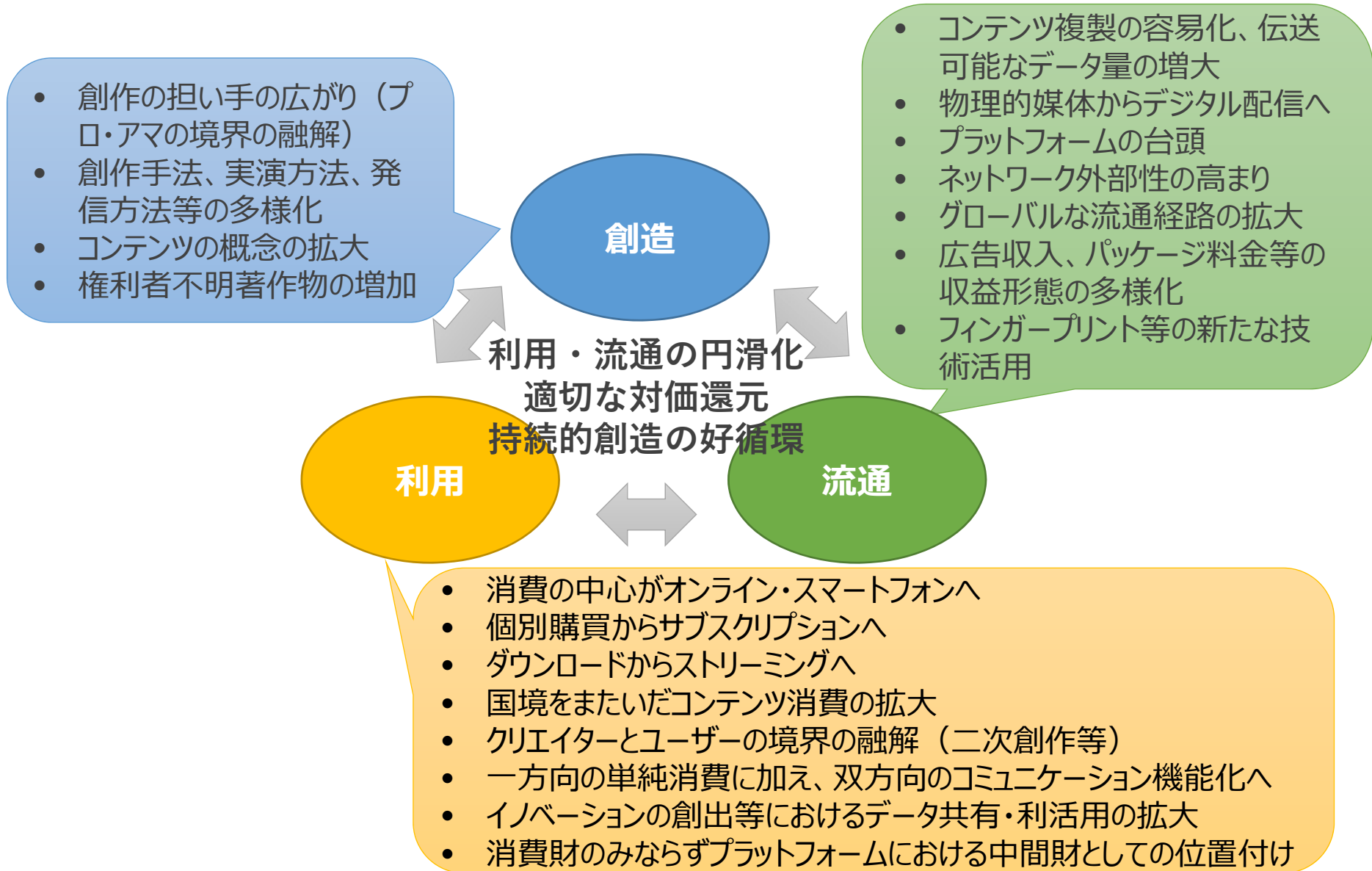
～12月

- ・論点整理
- ・具体的課題の整理
- ・検討の方向性の整理
- ・とりまとめ

委員名	所属
上野 達弘	早稲田大学大学院法務研究科教授
内山 隆	青山学院大学総合文化政策学部教授
田村 善之 (副座長)	東京大学大学院法学政治学研究科教授
中村 伊知哉 (座長)	iU (情報経営イノベーション専門職大学) 学長
林 いづみ	弁護士、桜坂法律事務所パートナー
前田 哲男	弁護士、染井・前田・中川法律事務所
水野 祐	弁護士、シティライツ法律事務所
柳川 範之	東京大学大学院経済学研究科教授

# 現状と課題

## デジタル化・ネットワーク化の進展等による状況変化



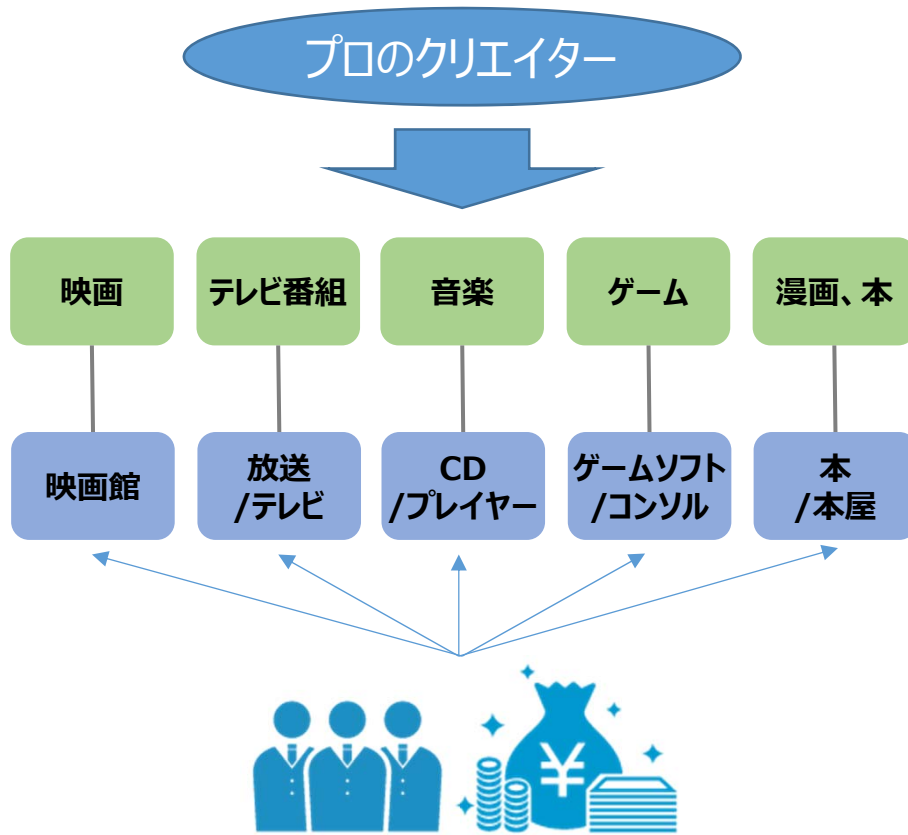
## 検討内容・主な論点（暫定案）

- ◆ 利用の円滑化と創作者等への適切な対価還元方策
  - － 集中管理や裁定制度、データベースの整備等、利用の円滑化のための仕組み
  - － 団体管理外のアウトサイダーの取扱い
  - － 教育分野で導入された補償金制度の他分野における活用の可能性
  - － 実質的に報酬請求権化することが望ましいコンテンツ利用と、事前の明示的な許諾を維持することが望ましいコンテンツ利用の整理
  - － オプトアウト方式も含めた権利者の意思解釈の方策の検討
- ◆ デジタル時代の著作権制度の設計
  - － 二次創作を多く含むUGC（ユーザ生成コンテンツ）の総体としてのコミュニケーション・プラットフォーム化と権利処理の問題
  - － プラットフォームとの契約や規約、ガイドラインの役割
  - － 「万人の法」としての分かりやすさの追求
- ◆ デジタルトランスフォーメーションとオンライン化を踏まえた権利処理のあり方
  - － 旧作映像の権利処理
  - － 映像に係る権利や音楽著作権、原盤権等の処理
  - － 外国の権利者が権利を保有するものの取扱い
- ◆ コンテンツの海外展開
  - － 海外の管理団体との連携
  - － データベースの多言語対応・相互連携
- ◆ 新たなテクノロジーの活用
  - － フィンガープリントやブロックチェーン技術等の活用（対価還元等）
  - － リーガルテック等の活用（契約の促進等）

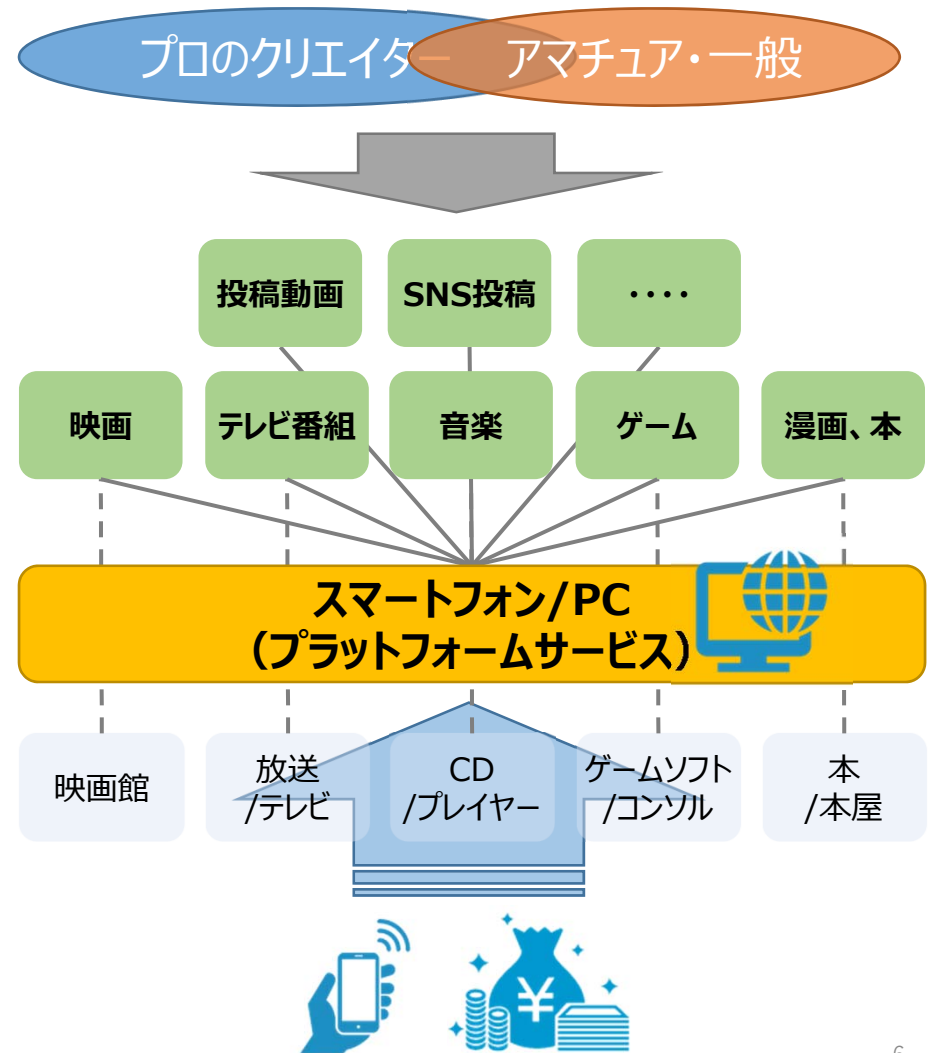
等

# 【参考】デジタル化による流通市場変化のイメージ

## 従来のコンテンツ流通



## デジタル時代のコンテンツ流通



# 【参考】デジタル時代の課題領域のイメージ

